

令和3年度 第2回 豊後大野市地域公共交通会議  
豊後大野市地域公共交通活性化協議会 議事要旨

日時：令和3年11月12日（金） 14：00～  
場所：豊後大野市役所 2F 第2会議室



1. 開会

事務局：ただいまより、令和3年度「第2回豊後大野市地域公共交通会議及び豊後大野市地域公共交通活性化協議会」を同時開始いたします。前回第1回協議会は書面会議で実施させて頂きました。ご対応ありがとうございました。

2. 会長あいさつ

会長：本日はご多忙のところご出席いただきありがとうございます。平素より本市の交通行政にご理解とご協力を賜りまして感謝申し上げます。新型コロナにより社会情勢が大きな転換期を迎える中、感染防止を行いながら、社会経済の活性化を促すという、いわゆるブレーキをかけながらアクセルを踏まなければならない状況です。県内の感染状況と致しましては、大分県内で18日連続、豊後大野市で48日連続新規感染者が0ではありますが、今後もスピード感をもって対応していかなければならないと考えております。公共交通の取組として、再活性化に向けたラッピングバスやプレミアムタクシーチケットの事業等を展開させて頂いております。本日は報告事項2点、議案1点となっております。皆様の闊達かつ効果的なご議論を宜しくお願いいたします。

### 3. 報告事項

#### ① 豊後大野市コミュニティバス及びあいのりタクシーの利用状況について

事務局：資料の説明（省略）

バス・タクシー・鉄道事業者の方に現状をご説明頂きます。

中山委員：大野竹田バス（株）の中山です。現在の状況ですが、昨年3月より極端に人の移動が無く、バスの収益が落ちている状況です。具体的には令和2年度の収益は通常の3割程度まで落ち込でおります。当時ワクチン接種などにより令和3年度では、バスの収益がコロナ前に戻ると期待しておりましたが、今年度4月のみ前年を上回り、5月～現在は前年を下回る状況です。落ち幅は10%以内を推移している状況であります。今年度の収益が伸び悩んだ理由として、コロナの影響で、買い物や通院の移動頻度が例えば週2回から週1回に減少するなど、新しい生活様式が定着してきたのではないかと考えております。臼津交通でも同様な傾向が見られるため、全国でも同様な状況であると考えられます。

日坂委員：豊後大野市タクシー協会の日坂です。収益は令和2年から3年にかけて10%程度の落ち込みが見られております。当初は、タクシー業界の将来に不安を抱いておりましたが、8月よりタクシーチケットの売り込みを自治体（本市や豊後大野市商工会）のご協力により開始させて頂きました。令和3年9月までと比較すると、令和3年10月の収益は10～12%ほどの伸びがございました。コロナ禍（令和2年度）以前と比較するとまだまだ売上は回復していませんが、10月の10%の伸びは心強く感じているとともに、政治・行政・自治体と密接に結びつくことの重要性を実感しました。今後ともお力添えを頂きたいと考えております。

山下委員：JR九州株式会社大分支社の山下（代理出席）です。当社も2020年～2021年の利用状況として、今までにない程、利用が落ち込みました。平成27年度における三重町駅の利用者数が31万6千人に対し、昨年の令和2年度では27万4千人と約4万人の減少が見られました。利用者の8割が定期券利用者であり、特に学生の利用が多いです。2021年9月末までの半年の乗車数が13万1千人、降車が13万人程度であり、このままでいくと令和3年度もまた落ち込む状況にあります。今後もバス会社様やタクシー業者の方とも協力して利用促進などに取り組んで行きたいと思えます。

#### ② 豊後大野市地域公共交通活性化の取組状況について

事務局：資料の説明（省略）

吉岡委員：法改正と地域公共交通計画の概要について（説明略）

本田委員：タクシーの「相乗りサービス」制度の導入について（説明略）

### ③ 豊後大野市における公共交通に関する住民意見聴取結果の発表

事務局：現在のコミュニティバスの利用状況や課題について、市民委員や大学生を交えた協議会を本日午前中に実施致しました。議論の結果を大分大学の学生の皆様に発表頂きます。よろしくお願いいたします。

大分大学：学生による発表（主なポイント）

<コミバスの良い点>

- ・運転士や乗客同士でコミュニティができている
- ・生活に便利（通院、買い物など）

<コミバスの不満点>

- ①時間の制約
- ②他のサービスとの比較（送迎はドアトゥドアで無料）
- ③情報提供の不足

<提案>

- ・車両のダウンサイジング
- ・バス停まで歩く習慣づくり（健康のため）
- ・情報提供（シニア向けにはCATVの活用など）
- ・グループでバスツアー企画



事務局：本日のコミバス協議会は年内にもう一度開催し、次回は、地域住民の方が出来る公共交通の利用促進について協議を行うことを想定しております。協議結果は、地域公共交通計画に反映させたいと考えております。

会長：それでは、これまでの内容に関しまして、質問・意見などありましたらよろしく願いします。

会長：ご意見等無いようですので、次に移ります。

#### 4. 議題

##### ① 豊後大野市コミュニティバス実証実験について

事務局：資料の説明（省略）

会長：それでは、ただ今の内容に関しまして、質問・意見などありましたらよろしく願いします。

脇委員：大分県バス協会ですが、実証実験の障がい者の運賃はどうなりますでしょうか。

事務局：本市の条例に基づき半額を想定しております。

本田委員：定時運行の際の乗降の予定場所は決まっているのでしょうか。

事務局：既存バス停がある箇所をもとに、乗降予定場所を決定する方針でおります。既存のバス停がない新設の箇所では、警察協議を実施し、調整を進めて参ります。

会長：ただ今の議案について、承認される方は拍手をお願いいたします。

一同：拍手（承認）

会長：ここまでが本日の議題となります。それでは進行を事務局にお返しします。

#### 5. その他

事務局：次回の協議会は1月中旬～下旬を予定しております。詳細は追ってご連絡させていただきます。次回の協議会ではバス停コンテストの審議、大学生や高校生の研究発表等を行う予定であります。その次の2022年2月の協議会ではバス停コンテストの表彰と、地域公共交通計画の素案について協議を実施し、3月には計画の最終承認をいただきたいと考えております。

#### 6. 閉会

事務局：以上を持ちまして、本日の協議会を終了させていただきます。ありがとうございました。

委員出欠名簿

(以下敬称略、順不同)

	氏名	所属等	出欠	代理出席者	
				職名	氏名
委員	清水 豊	行政機関(市) 豊後大野市副市長	○		
委員	赤星 成實	住民代表 豊後大野市自治会連合会 会長	○		
委員	矢野 源平	豊後大野市コミュニティバス関係者 豊後大野市コミュニティバス運営協議会 会長	○		
委員	佐東 源三	地元経済団体 豊後大野市商工会 会長	代	副会長	麻生 春彦
委員	田崎 真佐恵	行政機関(県) 大分県豊肥振興局地域創生部長	○		
委員	古川 卓	行政機関(県) 大分県豊後大野土木事務所長	欠		
委員	福田 雄一郎	行政機関(警察) 大分県豊後大野警察署交通課長	○		
委員	井上 貴志	鉄道事業者 JR九州(株) 大分鉄道事業部 運輸課長	代	助役	山下 慎一
委員	脇 紀昭	一般旅客自動車運送事業者(組織する団体) (一社)大分県バス協会専務理事	○		
委員	漢 二美	一般旅客自動車運送事業者(組織する団体) (一社)大分県タクシー協会 会長	代	事務局長	赤嶺 義美
委員	中山 勝宏	一般旅客自動車運送事業者 大野竹田バス(株)代表取締役社長	○		
委員	日坂 泰弘	一般旅客自動車運送事業者 豊後大野市タクシー協会 会長	○		
委員	赤嶺 勝己	運転手が組織する団体 大野竹田バス乗務員代表	欠		
委員	渡海 一成	運転手が組織する団体 豊後大野市タクシー協会乗務員代表	欠		
委員	大井 尚司	学識経験者 大分大学経済学部門教授	○		
委員	吉岡 順一	九州運輸局大分運輸支局 首席運輸企画専門官(企画調整担当)	○		
委員	本田 勝司	九州運輸局大分運輸支局 首席運輸企画専門官(輸送・監査担当)	○		
委員	河室 晃明	行政機関(市)公共交通担当 豊後大野市まちづくり推進課長	○		
委員	朝倉 誠一	行政機関(市)福祉有償運送担当 豊後大野市社会福祉課長	○		
委員	後藤 樹代文	行政機関(市)高齢者福祉担当 豊後大野市高齢者福祉課長	○		
委員	後藤 泰二	行政機関(市)市道管理者 豊後大野市建設課長	○		
委員	中城 美加	行政機関(市)スクールバス担当 豊後大野市学校教育課長	○		

事務局	古庄 英之	豊後大野市まちづくり推進課地域振興係長	○		
事務局	赤嶺 哲平	豊後大野市まちづくり推進課地域振興係主任	○		